

Burkholderia cepacia由来リパーゼ

Cat. No. EXTZ-903

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

Burkholderia cepacia 由来リパーゼは、トリアシルグリセロールアシルヒドrolラーゼ (EC 3.1.1.3) であり、管理された液中深部発酵により製造され、活性が 23,000 units/g 以上の白色～淡黄褐色粉末として供給される。本酵素は、水系においてトリアシルグリセロールをグリセロール、遊離脂肪酸、およびモノ／ジグリセリドへ加水分解する反応を触媒するほか、非水系および低含水媒体においてエステル化、エステル交換（トランスエステル化）、ならびにアミノリシス反応も触媒する。水および有機溶媒の双方で触媒活性を保持することから、不斉合成に利用可能な生体触媒の中でも特に汎用性が高い。とりわけ、ラセミ体の二級アルコール、カルボン酸、およびエステルの速度論的光学分割に有効であり、キラル医薬品中間体、香料・フレーバー化合物、ファインケミカル、バイオディーゼル、ならびに構造脂質の合成に広く適用されている。本酵素の至適 pH は約 8.5 で、pH 4.0～11.0 の範囲で良好な安定性を示し、55～70℃ において高い触媒性能を発揮する。

用途

研究

製品情報

種

バークホルデリア・セパシア

由来

微生物発酵

外形

白色～淡黄褐色の粉末

形態

粉末

EC番号

EC 3.1.1.3

CAS登録番号

9001-62-1

活性

23,000 FIP単位/g以上

等電点

4.0～11.0

最適pH

8.5

熱安定性

55℃まで熱安定性を有する

最適温度

55～70℃

保管・発送情報

保存方法

密閉容器に入れ、2～8℃で保存すること。